

「令和6年度超音波検査実技研修会」を開催しました

令和6年6月21日

(独)家畜改良センター熊本牧場

牛の人工授精等における適期授精と繁殖成績向上のため、一般社団法人日本家畜人工授精師協会と家畜改良センター熊本牧場の共催による「令和6年度超音波検査実技研修会」を開催し、家畜人工授精師のための超音波検査装置を用いた生殖器検査における講義と実技実習を行いました。

参加者は、超音波検査装置の使用に対して経験の浅い方が多く、講師に対して超音波検査装置の使用方法や手技等についての質問があり、活発な意見交換が行われました。また実技実習では、発情期、黄体期、妊娠初期の牛に対し超音波検査装置を使用し、卵巣や子宮の状態を確認していました。

参加者からは、「講義で画像を十分にイメージ出来たところで実習に移れたのでスムーズに実践できた」「初心者でも理解しやすい講義と実習で良かった」など、高い評価を頂きました。

【「令和6年度超音波検査実技研修会」

(令和6年度新牛繁殖技術普及強化事業に係る広域技術者研修)】

- ・日時 令和6年6月14日(金) 10:00～16:00
- ・場所 (独)家畜改良センター熊本牧場
- ・共催 (一社)日本家畜人工授精師協会
- ・講師 国立大学法人鳥取大学農学部 西村 亮 准教授
- ・参加者 5名(福岡県3名、長崎県1名、熊本県1名)



写真1：講義



写真2：実技実習（術者はゴーグル型モニターを装着）